PCT

国際調査報告

(法第8条、法施行規則第40、41条) [PCT18条、PCT規則43、44]

出願人又は代理人



の書類記号 P36181P0-516	及び下記5を参照すること。					
国際出願番号 PCT/JP2004/017477	国際出願日 (日.月.年) 25.11.	2004	優先日 (日.月.年)	26.11.2003		
出願人(氏名又は名称) 松下電器産業株式会社						
国際調査機関が作成したこの国際調査報告を法施行規則第41条(PCT18条)の規定に従い出願人に送付する。 この写しは国際事務局にも送付される。						
 この国際調査報告は、全部で <u>3 ペ</u> ページである。						
□ この調査報告に引用された先行技術文献の写しも添付されている。 ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■						
1. 国際調査報告の基礎 a. 言語は、下記に示す場合を除くほか、この国際出願がされたものに基づき国際調査を行った。 □ この国際調査機関に提出された国際出願の翻訳文に基づき国際調査を行った。						
b. □ この国際出願は、ヌクレオチド又はアミノ酸配列を含んでいる(第 I 欄参照)。						
2. □ 請求の範囲の一部の調査ができない(第Ⅱ欄参照)。						
3. □ 発明の単一性が欠如している(第Ⅲ欄参照)。						
4. 発明の名称は 区 出願人	人が提出したものを承認する	•				
□ 次にテ	示すように国際調査機関が作	成した。				
	しが提出したものを承認する	0				
国際調	闡に示されているように、法 関査機関が作成した。出願人 祭調査機関に意見を提出する	は、この国	際調査報告の発			
6. 図面に関して a. 要約書とともに公表される図は、 第 2 図とする。 X 出	願人が示したとおりである。					
H	願人は図を示さなかったので	3、国際調3	査機関が選択し	た。		
□ 本	図は発明の特徴を一層よく表	きしているの	ので、国際調査	機関が選択した。		
b 要約とともに公表される図はない。						

A. 発明の層	属する分野の分類(国際特許分類 (IPC))						
Int	. Cl ⁷ H04H 1/00 ,	H04N 5/38					
	- L () M3						
	テった分野 最小限資料(国際特許分類 (IPC))						
	$. Cl^{7} H04H 1/00$	H04H 7/00					
	H04N 5/38						
最小限資料以外	最小限資料以外の資料で調査を行った分野に含まれるもの						
日本国	実用新案公報 1922-1996年	<u> </u>					
日本国	公開実用新案公報 1971-2004年 第89字 B 第20						
日本国	登録実用新案公報 1994-2004年 実用新案登録公報 1996-2004年	• •					
国際調査で使用	目した電子データベース(データベースの名称	、調査に使用した用語)	:				
· .			·				
C. 関連する							
引用文献の			関連する				
カテゴリー*	引用文献名 及び一部の箇所が関連する	ときは、その関連する箇所の表示	請求の範囲の番号				
Α	WO 2002/082699 A1	(松下電器産業株式会社)	1 - 19				
	2002.10.17,						
	明細書第17頁第8行一第20頁第		5				
	& EP 1376913 A1, 第C	0089-0110段落,					
	第9-11図						
		•	,				
	·	·					
X C欄の続き	とにも文献が列挙されている。	□ パテントファミリーに関する別	紙を参照。				
* 引用文献の	Oカテゴリー 車のある文献ではなく、一般的技術水準を示す	の日の後に公表された文献	+ h + + + +				
「A」有に関題	色のある文献(はなく、一般的技術小単を小り	「T」国際出願日又は優先日後に公表さ 出願と矛盾するものではなく、多					
_	頁日前の出願または特許であるが、国際出願日	の理解のために引用するもの	193-2%((五)人(3)工 _{[[]}				
	以後に公表されたもの 「X」特に関連のある文献であって、当該文献のみで						
	E張に疑義を提起する文献又は他の文献の発行 (は他の特別な理由を確立するために引用する	の新規性又は進歩性がないと考え 「Y」特に関連のある文献であって、当					
	理由を付す)	上の文献との、当業者にとって自					
	る開示、使用、展示等に言及する文献	よって進歩性がないと考えられる	5もの				
「P」国際出願日前で、かつ優先権の主張の基礎となる出願 「&」同一パテントファミリー文献							
国際調査を完了	了した日	国際調査報告の発送日 28.12.20	04				
13. 12. 2004							
国際調本機関の	D名称及びあて先	特許庁審査官(権限のある職員)	5 J 3 0 5 5				
日本国特許庁(ISA/JP) 川口 貴裕							
	事便番号100-8915						
東京都	8千代田区霞が関三丁目 4番 3 号	電話番号 03-3581-1101	内線 3535				

C (続き).	関連すると認められる文献	
引用文献の カテゴリー*	引用文献名 及び一部の箇所が関連するときは、その関連する箇所の表示	関連する 請求の範囲の番号
A	WO 2002/078225 A1 (松下電器産業株式会社) 2002.10.03, 明細書第6頁第17行一第11頁第9行,第3図 & EP 1372287 A1,第0024-0053段落, 第3図 & US 2003/0147391 A1	1-19
A	WO 2002/047300 A1 (松下電器産業株式会社) 2002.06.13,全文,第1-40図 & EP 1271820 A1 & US 2003/0003861 A1 & JP 2002-237791 A	1-19
A	JP 2003-18113 A (ソニー株式会社) 2003. 01. 17, 第0031段落, 第3 (a) 図 (ファミリー無し)	1-19
A	JP 2003-235010 A (松下電器産業株式会社) 2003.08.22,第0092段落 (ファミリー無し)	1-19
A	JP 11-112573 A (ソニー株式会社) 1999. 04. 23, 第0113段落, 第0124段落 (ファミリー無し)	1-19
	·	